



# 中国経済の現状と展望

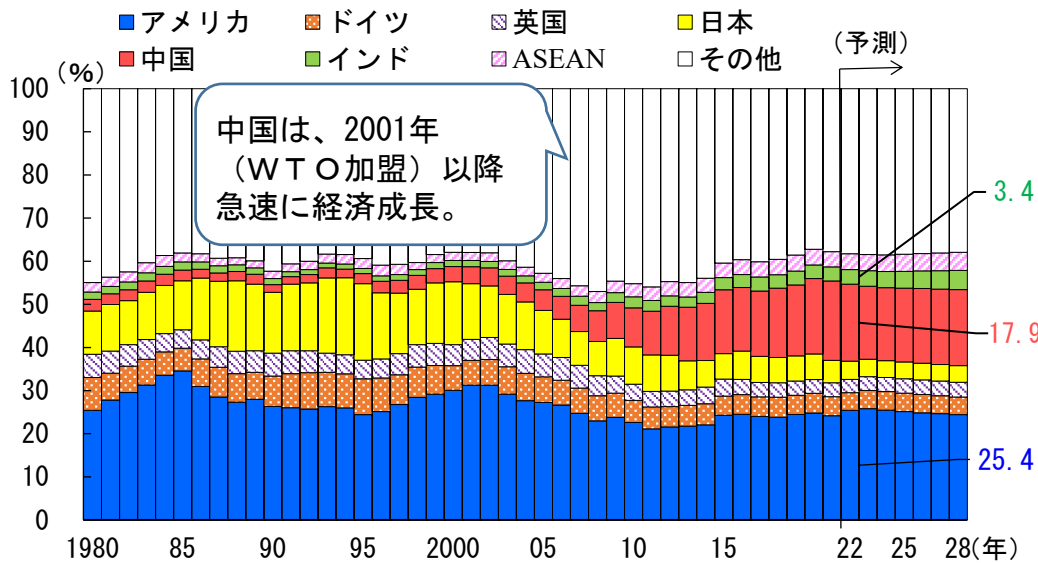
令和5年12月

内閣府 政策統括官（経済財政分析担当）付

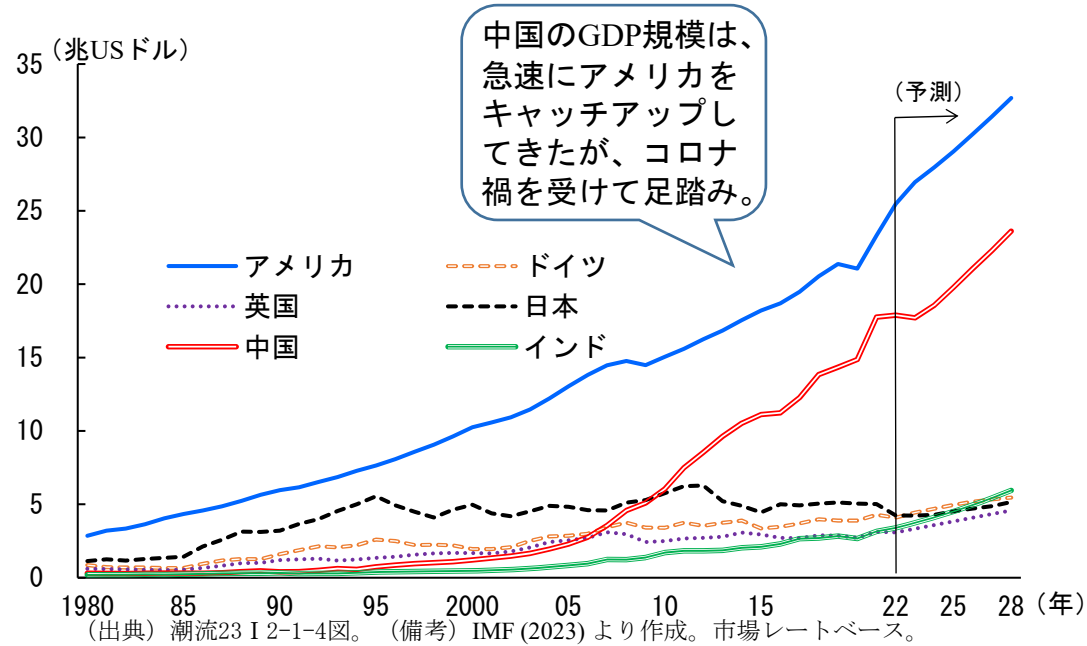
参事官（海外担当） 石橋 英宣

# 1 長期トレンド①：GDPの推移、成長目標、潜在成長率

(1) 各国の名目GDPシェア、規模の推移 (1980~2022)



(出典) 内閣府「世界経済の潮流」2023年I (以下「潮流23 I」等と表記) 第2-1-3図。  
(備考) IMF (2023) より作成。市場レートベース。



(2) 五か年計画期間の平均成長率目標と実績値 (2006~)

	第11次 (2006~10年)	第12次 (2011~15年)	第13次 (2016~20年)	第14次 (2021~25年)
平均成長率 目標	+7.5%	+7%	+6.5%以上	設定せず
平均成長率 実績	+11.2%	+7.8%	明記せず (参考) 2020年+2.2%	— (参考) 2021年+8.4% 2022年+3.0%

近年は成長率目標・実績値ともに低下傾向。

(3) 潜在成長率 (1985~2025)

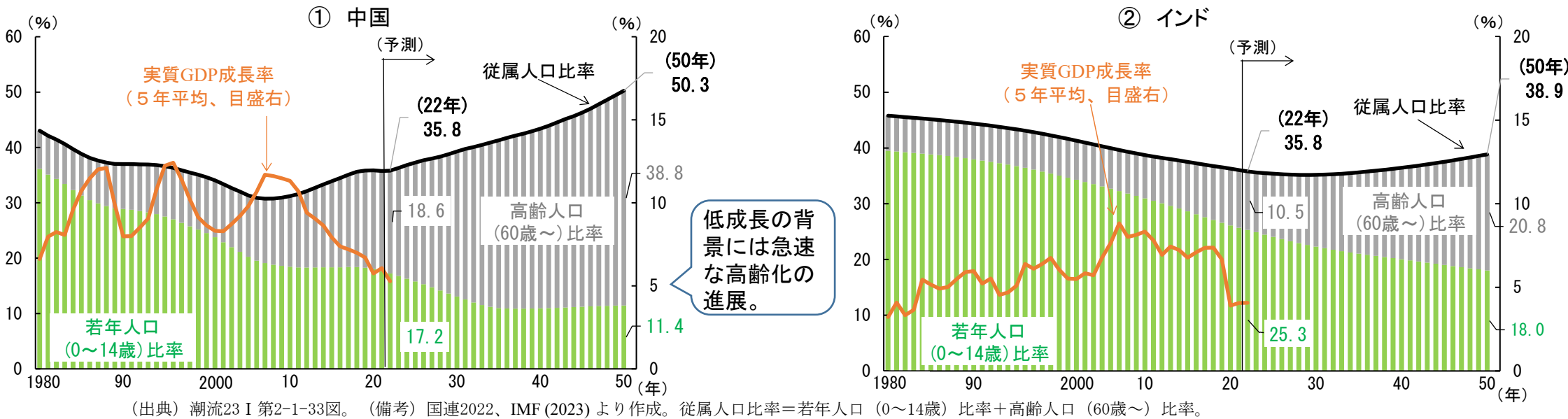
1985~ 2007年	2008~ 12年	2013~ 17年	2018~22年 (予測値)	2022~25年 (予測値)
+10.10%	+9.42%	+7.08%	+6.45%	約+5.5%

近年は潜在成長率も低下の可能性。

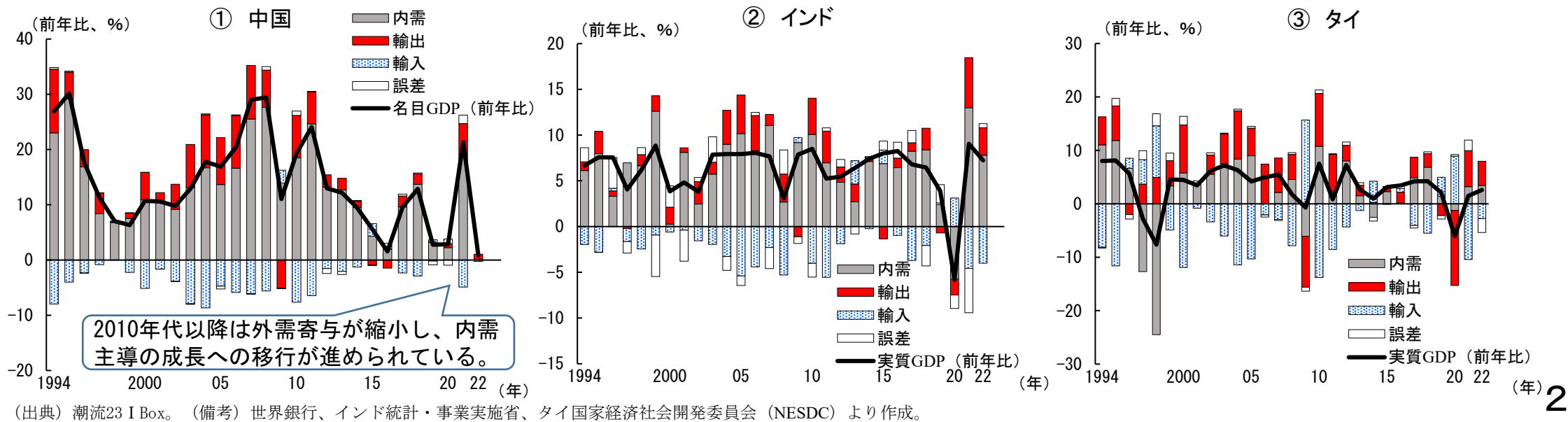
(出典) 潮流22 II コラム3。(備考) 中国国務院、中国国家統計局、中国社会科学院より作成。

# 1 長期トレンド②：人口構成、内需と外需

## (4) 従属人口比率と経済成長率の推移



## (5) 経済成長における内需・外需の寄与

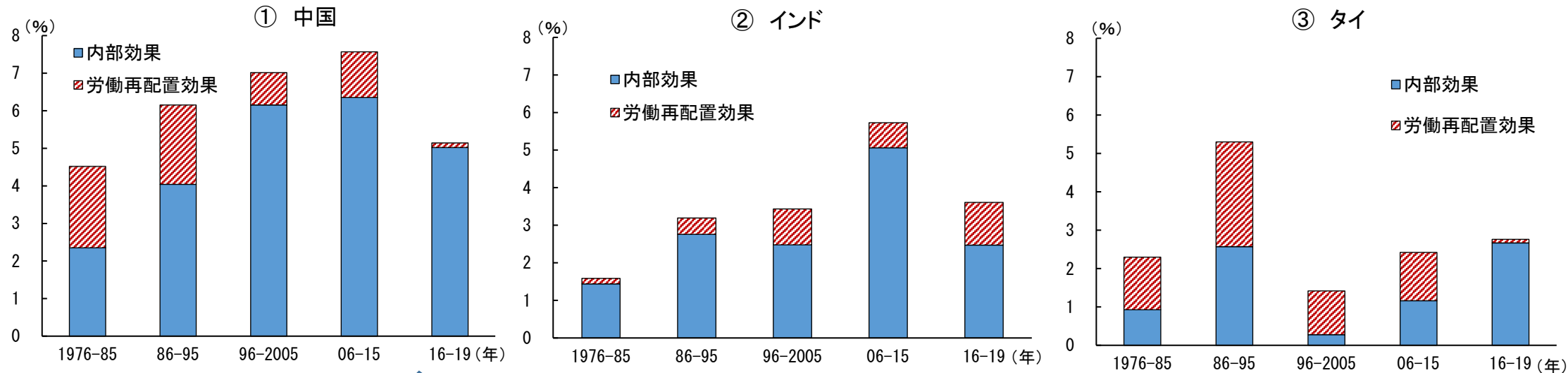


# 1 長期トレンド③：労働生産性の推移

## (6) 労働生産性の要因分解（内部効果と再配置効果）

※内部効果：個別産業の生産性上昇

再配置効果：生産性が高い産業への労働移動による生産性上昇



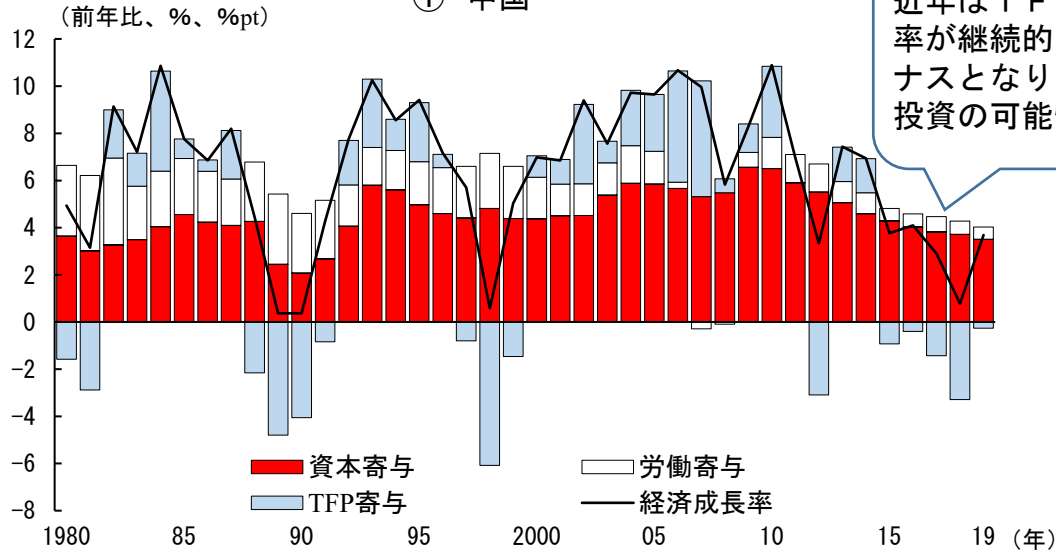
活発な労働移動もあり、労働生産性は高い伸び。近年は再配置効果が減速。

(出典) 潮流23 I 図2-1-35。(備考) APO Productivity database 2022より作成。

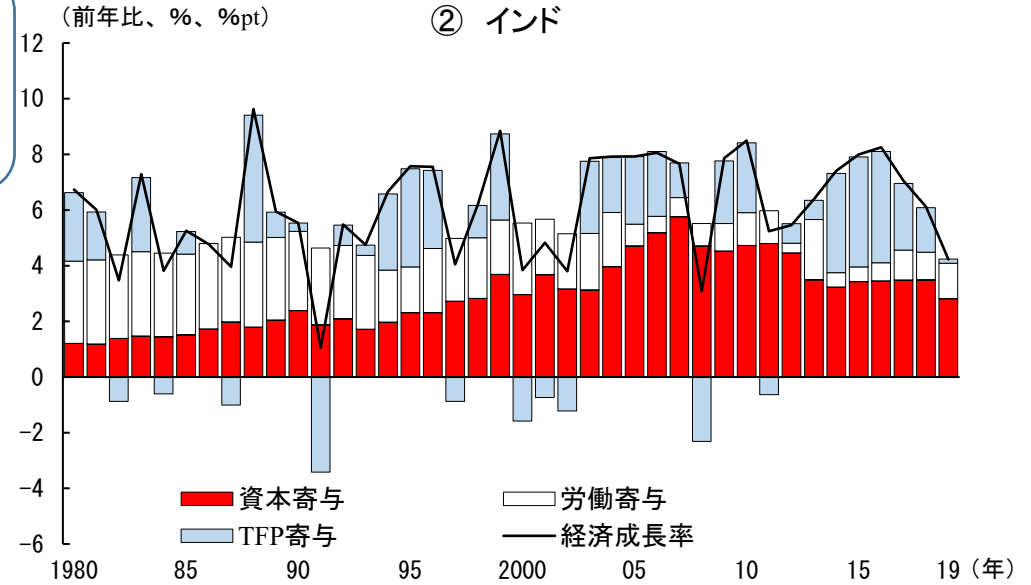
# 1 長期トレンド④：成長会計（労働、資本、TFP）

## (7) 成長会計

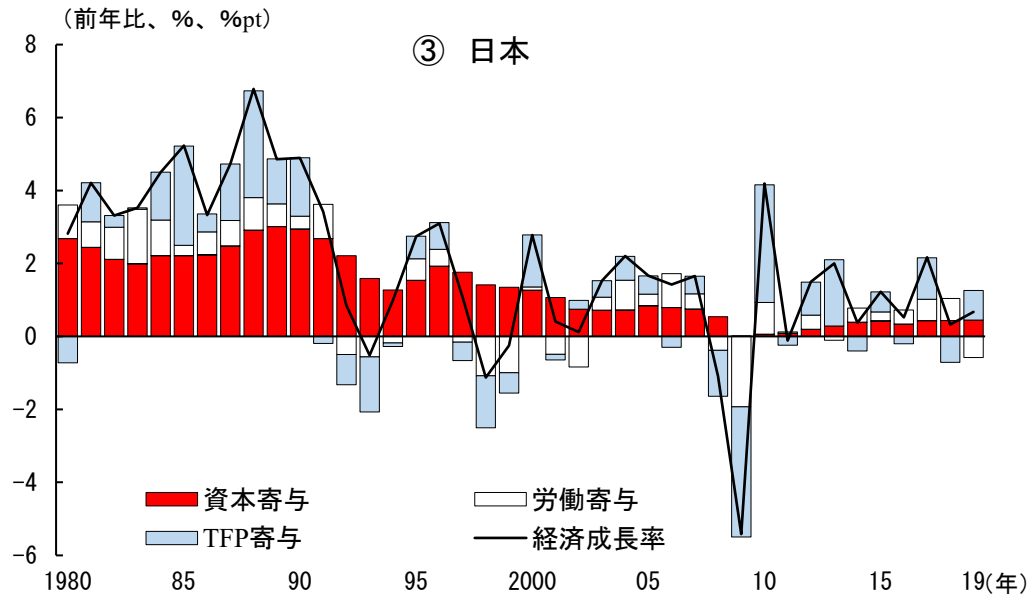
① 中国



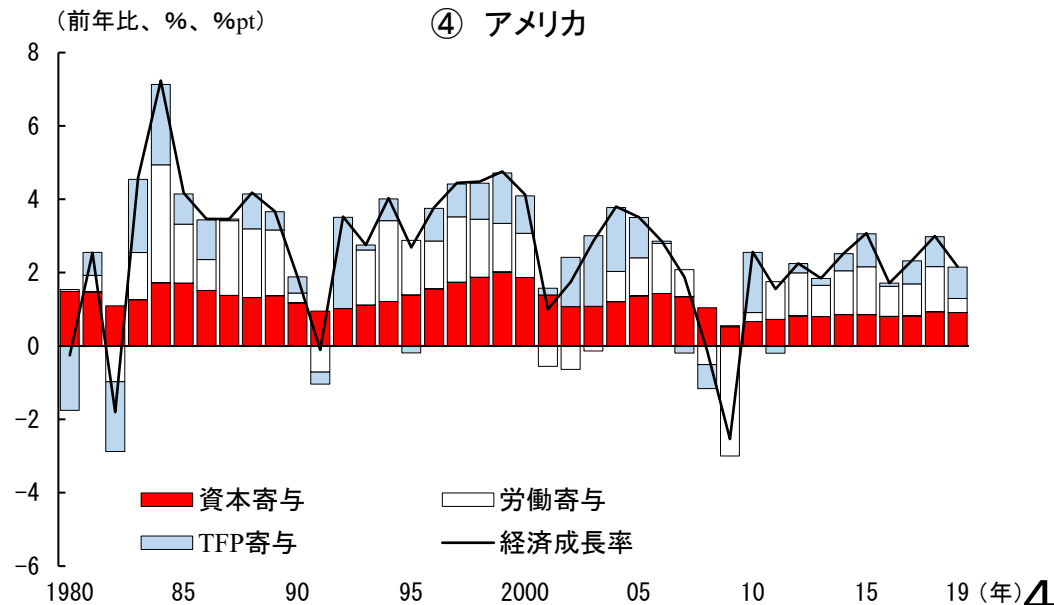
② インド



③ 日本



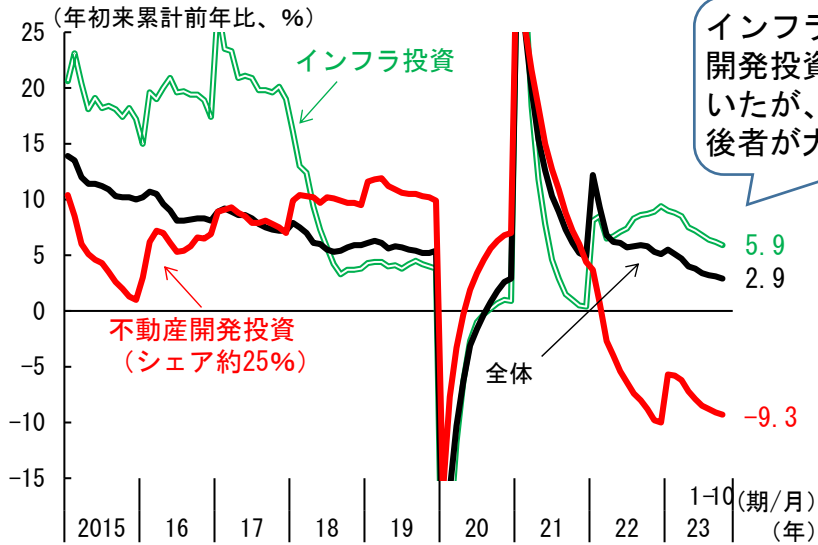
④ アメリカ



(出典) 潮流23 I 第2-1-28図。(備考) Penn World Tableより作成。

# 1 長期トレンド⑤：固定資産投資の動向とその影響

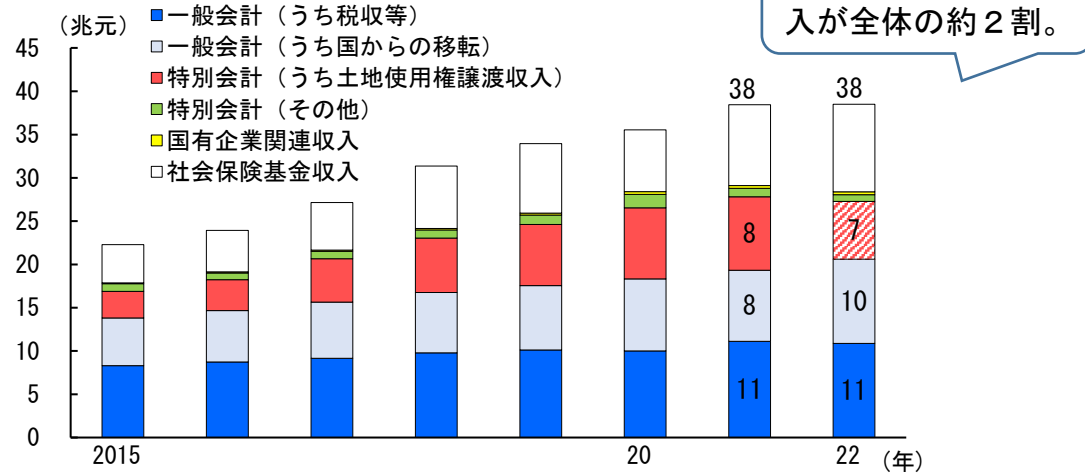
(8) 固定資産投資



(出典) 内閣府「月例経済報告」(以下「月例」と表記) 令和5年8月。  
(備考) 中国国家统计局より作成。

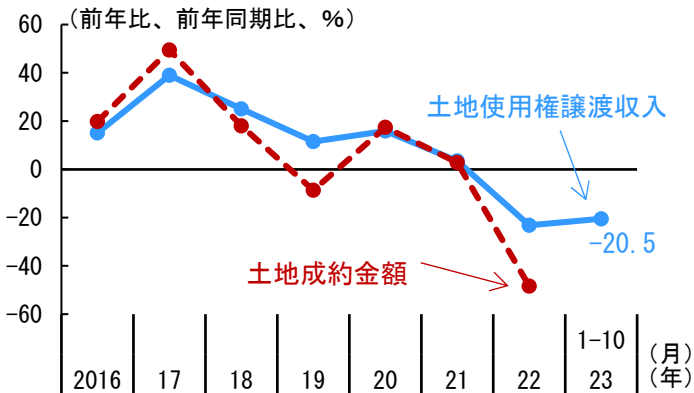
(9) 地方財政

① 財政収入 (地方政府全体)



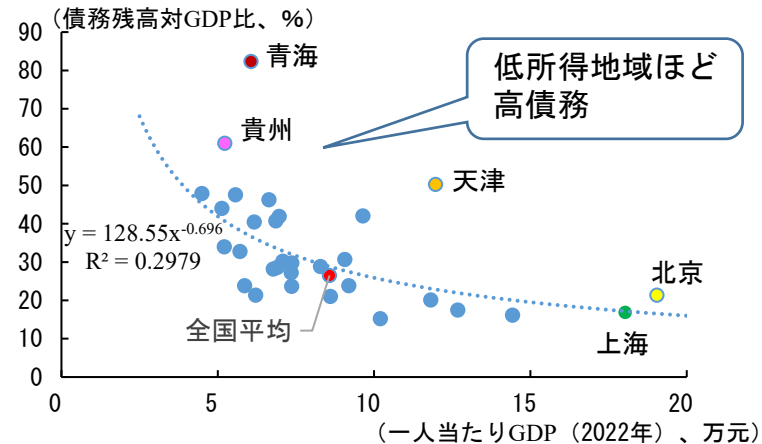
(出典) 潮流23 I 第1-2-25図。(備考) 中国财政部より作成。22年の土地使用者譲渡収入は、中央・地方の合計値のみ発表のため、合計値を21年の地方のシェアで按分した推計値。

② 土地使用者譲渡収入の減少



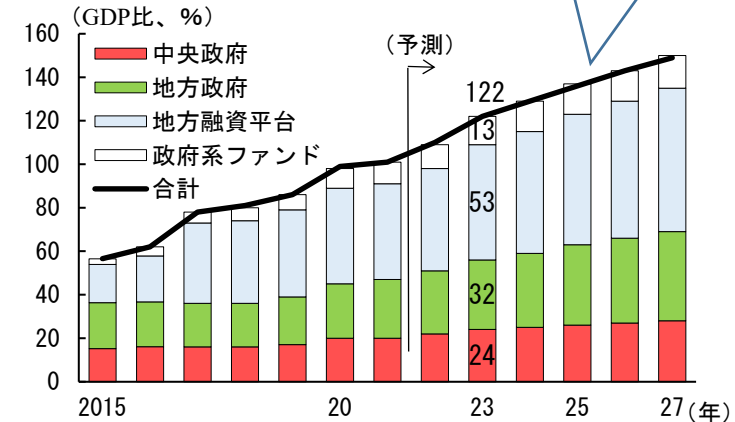
(出典) 潮流23 I 第1-2-24図。  
(備考) 中国国家统计局、中国财政部より作成。

③ 各地方の債務残高と一人当たりGDP (2022年)



(出典) 潮流23 I 第1-2-27図。  
(備考) 中国国家统计局より作成。

④ 政府債務残高

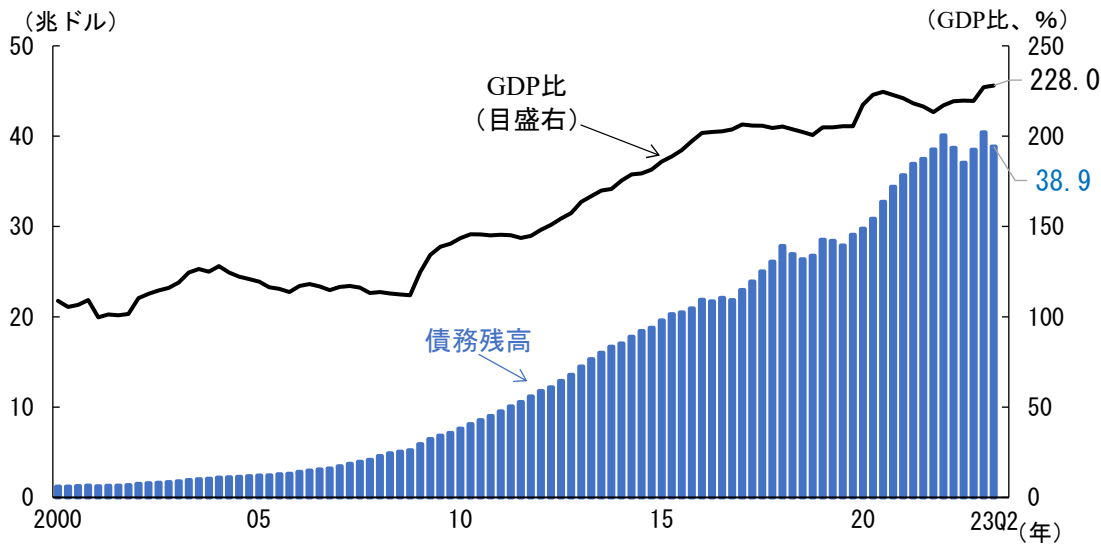


(出典) 潮流23 I 第1-2-28図。  
(備考) IMFより作成。

# 1 長期トレンド⑥：不良債権、貿易

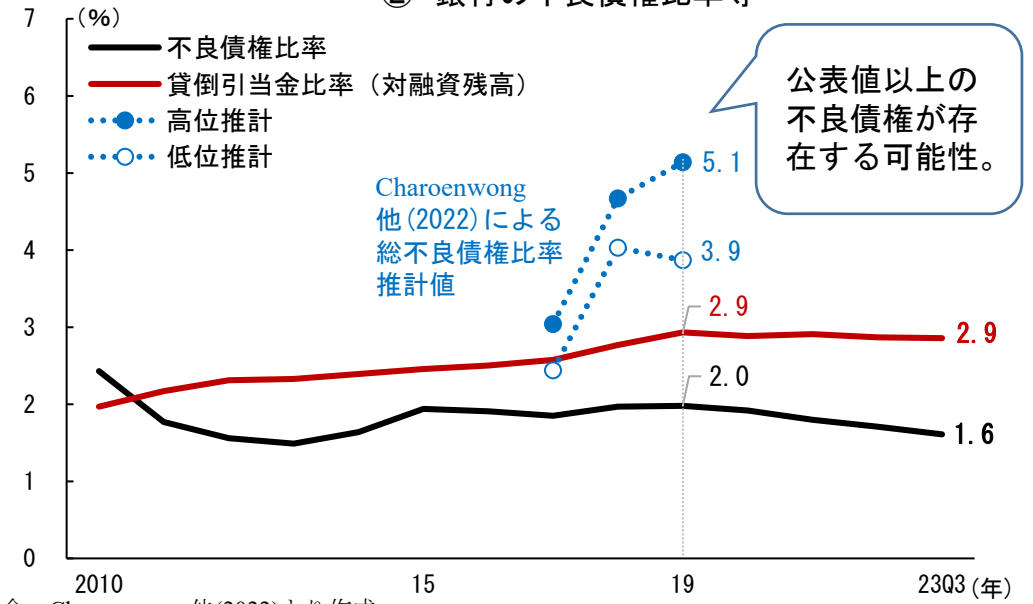
## (10) 不良債権

### ① 民間非金融部門の債務残高

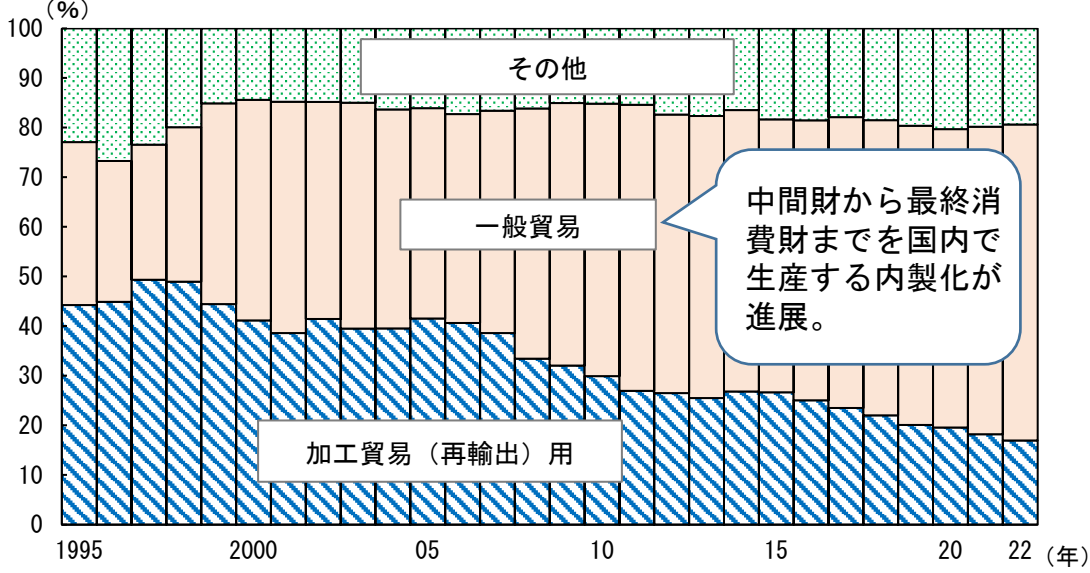


（出典）潮流23 I 第1-3-14図。（備考）図1はBIS、図2は中国人民銀行、中国銀行保険監督管理委員会、Charoenwong 他(2022)より作成。

### ② 銀行の不良債権比率等

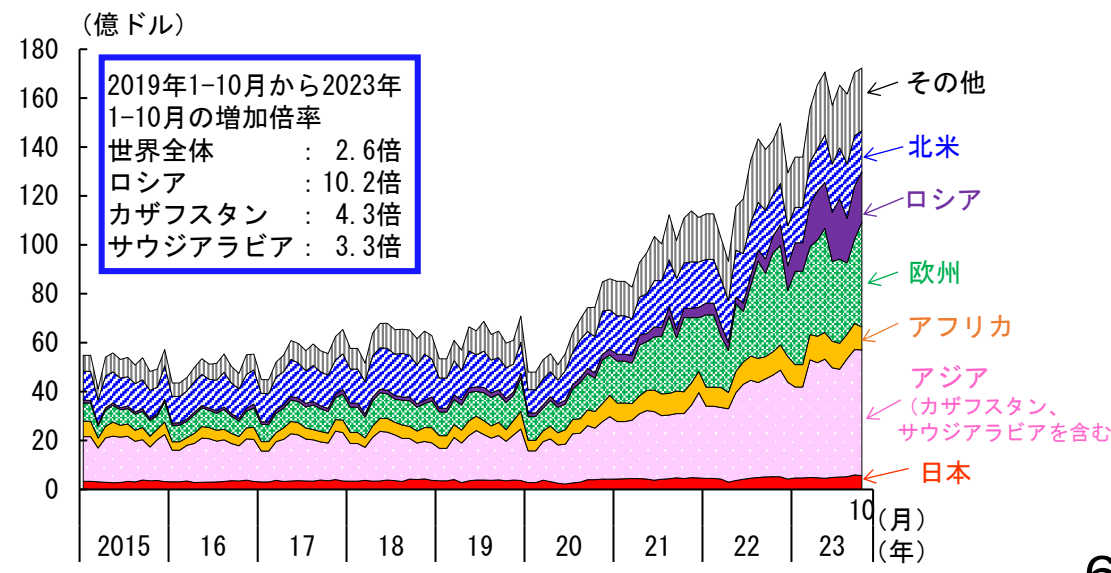


## (11) 輸入構造の推移



（出典）潮流23 I 第1-1-57図。（備考）中国海関総署より作成。

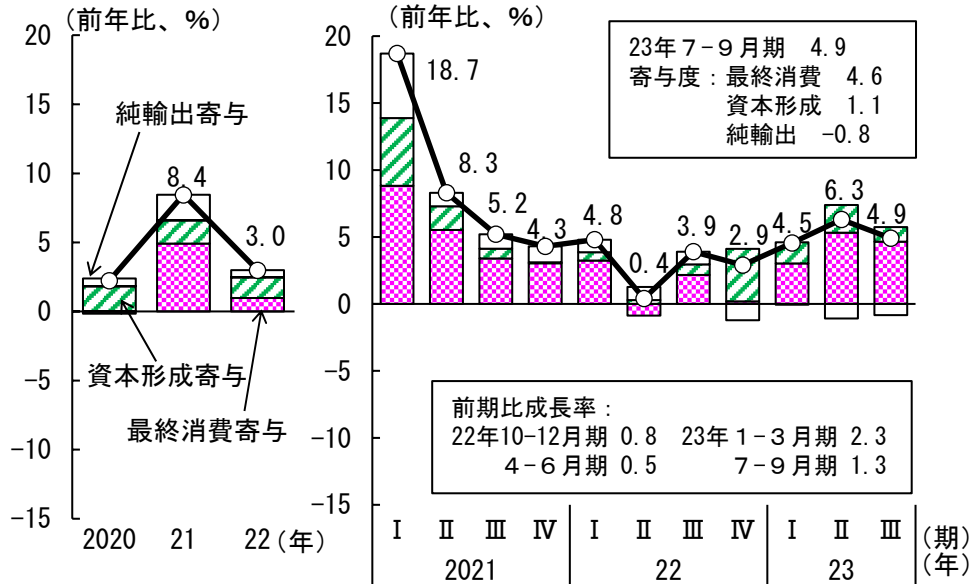
## (12) 中国の自動車輸出



（出典）月例令和5年10月。（備考）中国海関総署より作成。1月・2月は両月の平均。

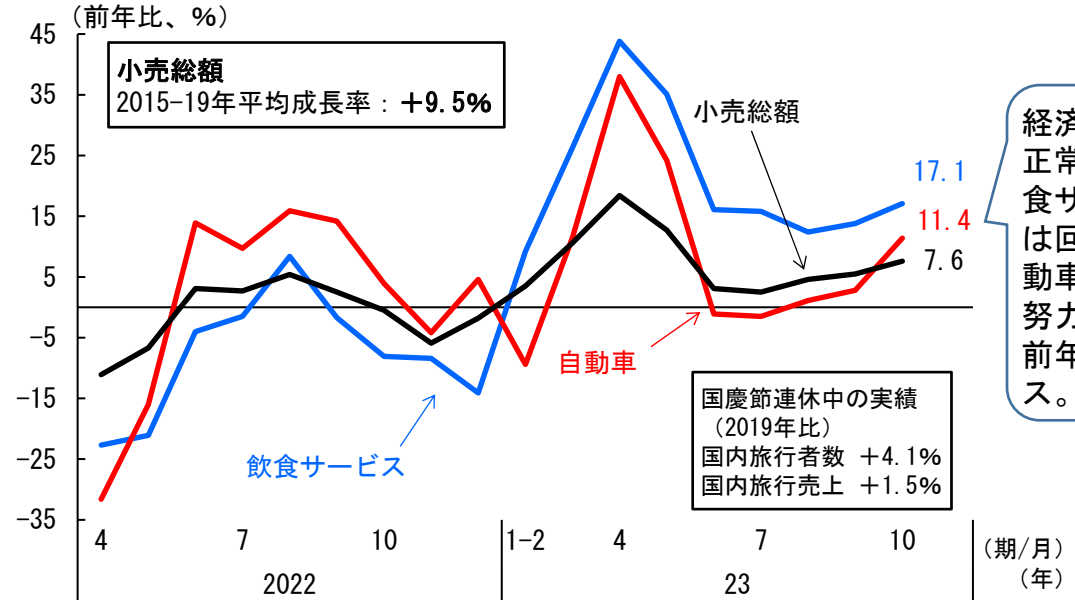
## 2 コロナ禍後の景気動向①

### (1) 実質GDP成長率



(出典) 月例令和5年11月。(備考) 中国国家統計局より作成。

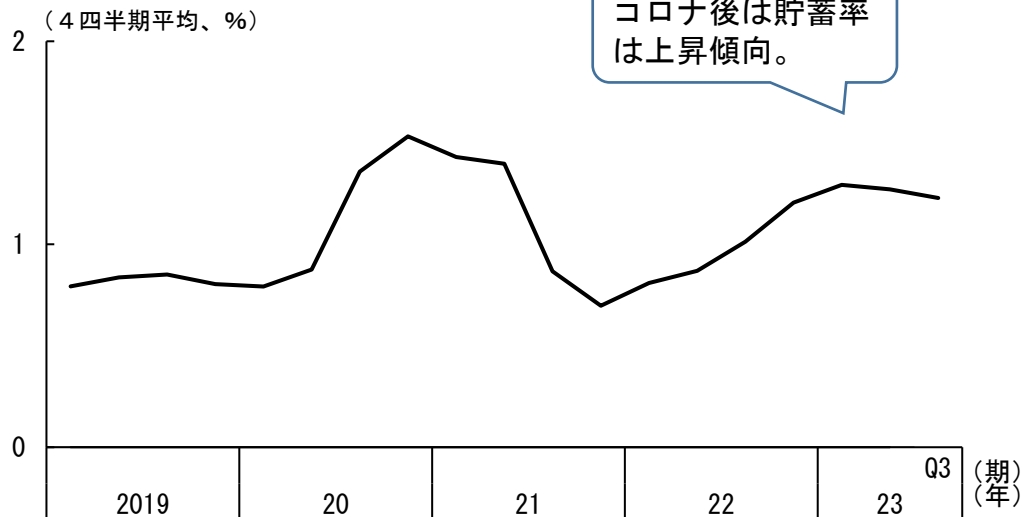
### (2) 消費：小売総額(自動車、飲食)



(出典) 月例令和5年10月。(備考) 中国国家統計局より作成。

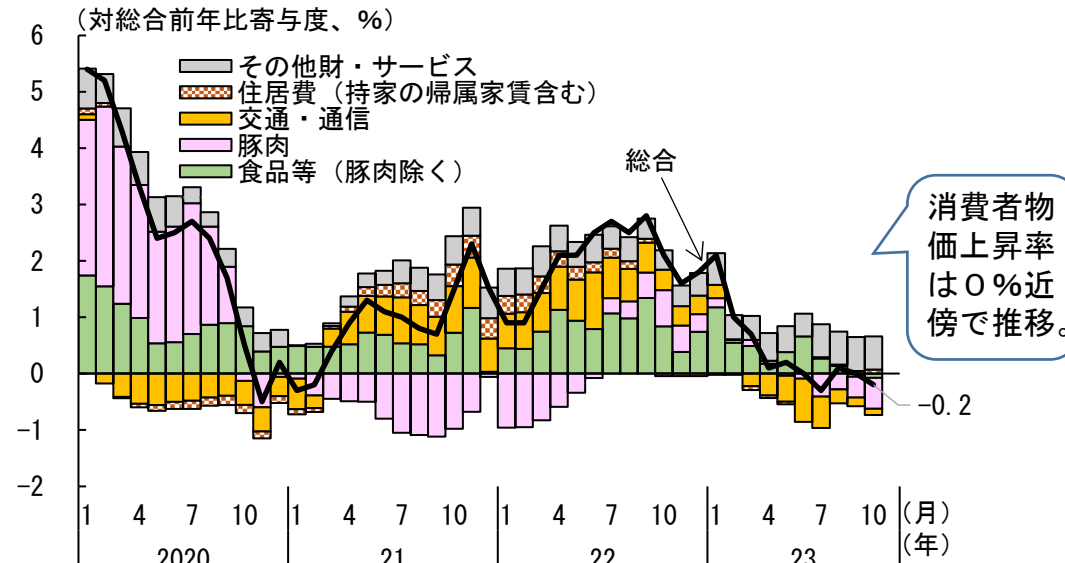
経済活動の正常化で飲食サービスは回復。自動車は政策努力により前年比プラス。

### (3) 貯蓄率



(出典) 潮流23 I 第1-1-51図。(備考) 中国国家統計局、中国人民銀行より作成。

### (4) 消費者物価上昇率

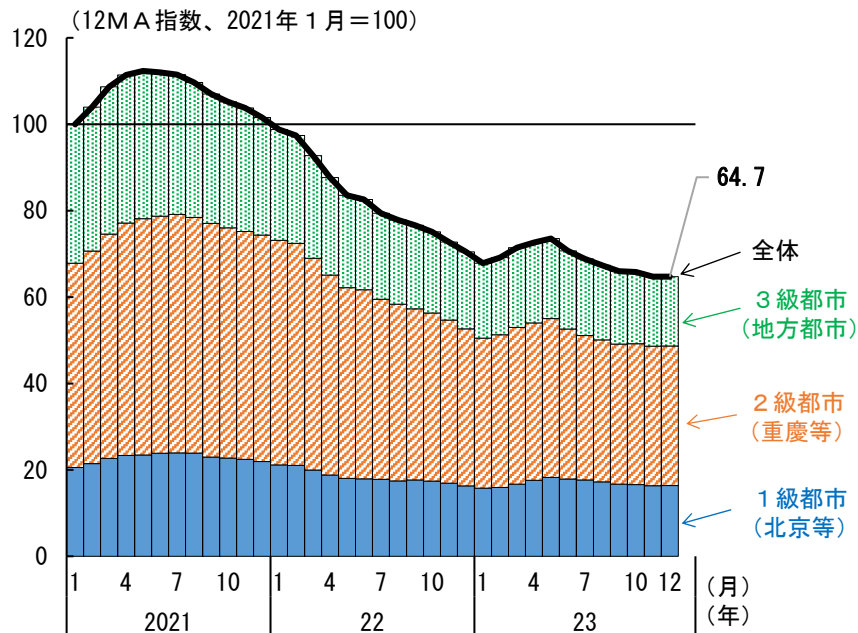


(出典) 月例令和5年11月。(備考) 中国国家統計局より作成。豚肉以外の寄与度は内閣府試算。住居費は電気代、ガス代を含む。交通・通信はガソリン代を含む。



## 2 コロナ禍後の景気動向②

(5) 30大都市住宅取引件数



(6) 自然災害対策 (10月24日発表)

- ▶ 災害後の再建と防災・減災能力向上のため、2023年10-12月期に1兆元 (約20兆円) の国債を追加発行し、全て地方への移転支出とする。
- ▶ 本年中に5,000億元 (約10兆円) を使用、残る5,000億元は翌年使用 (注)。
- ▶ 本年の財政赤字は3.88兆元 (対GDP比3.0%) から4.88兆元 (同3.8%) となる。

(資金の使途：重点8分野)

- (1) 災害後の再建
- (2) 重点洪水防止プロジェクト
- (3) 自然災害への応急能力の向上
- (4) その他の重点水害防止プロジェクト
- (5) 灌漑・表土流失への対応
- (6) 都市排水能力の向上
- (7) 自然災害の総合防止体系の構築
- (8) 高標準農地の建設

(出典) 月例令和5年8月。  
(備考) Windデータベースより日次データから作成。2023年12月は12月4日までのデータ。

(備考) 中国財政部より作成。

(注) 通年の名目GDPは約120兆元であるところ、単純計算では、本年及び翌年のGDPを0.4%程度押し上げるものと試算される。

## 2 コロナ禍後の景気動向③

(7) 国際機関等の成長見通し

### 1. 通年の成長率予測

機関名	公表月	2023年	2024年
ADB（アジア開発銀行）	23年9月	4.9	4.5
世界銀行	23年10月	5.1	4.4
IMF（国際通貨基金）	23年11月	5.4	4.6
OECD（経済協力開発機構）	23年11月	5.2	4.7
民間予測平均 （ブルームバーグ調査、中央値）	23年12月	5.2	4.5

### 2. 四半期見通し

民間予測平均（ブルームバーグ調査、中央値）

	2023年				2024年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
前年同期比	4.5	6.3	4.9	5.1	4.1	4.6	4.6	4.7
前期比	2.3	0.5	1.3	1.0	1.2	1.2	1.2	1.1

(備考) 各機関、ブルームバーグより作成。

### 3 まとめ（問題提起）

---

➤ 中国の成長率の低下傾向をもたらしている可能性がある主な構造的要因：

- （１）不動産市場の停滞、不良債権
- （２）米中貿易摩擦
- （３）人口動態（少子高齢化）

➤ 問題提起：

- 問１ 不動産市場は停滞が続いているが、改善し得るのか。不良債権による経済の長期停滞は回避し得るのか。
- 問２ 米中貿易摩擦による影響はどの程度あるのか。外需の減少を内需で補うことは可能か。
- 問３ 少子高齢化の影響は、今後潜在成長率を押し下げるとみられる。人口動態そのものの大幅な改善は困難である中で、どのような対策が採られるべきか。